



Lions International

ライオンズとレオは、より健やかな地域社会と、より持続可能な世界を実現するため、環境保全に取り組んでいます。

安全な水と
トイレを世界中に

環境への認識向上、
教育、アドボカシー

環境の浄化
と復元

植樹と
樹木の世話



リサイクルおよび 廃棄物管理

資源を保全し、環境に放置される廃棄物を減らすことで、持続可能性への悪影響を最小限に抑えましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、現在そして将来にわたって、人と地球の平和と繁栄のために共有しようとしている構想を提示するものです。17の目標は、先進国も発展途上国も含めたすべての国が、全世界で一体となって協力し、直ちに行動を起こすことを求める呼びかけです。SDGsの達成には、政府の戦略やイニシアチブを補完的かつ不可欠なコミュニティ活動につなげるボランティア団体の関与が不可欠です。

この奉仕分野はSDGsの目標12を支持するものです



持続可能な
消費と生産の
パターンを
確保する



世界では、およそ **37%の廃棄物**が何らかの埋め立てに使われる形で投棄され、**33%がオープンダンプ(野積み)**、**19%がリサイクル処理**または**コンポスト化**、**11%が焼却処理**されています。*



毎年**112億トン**の**固形廃棄物**が世界で回収されています。*



世界では**30億人**が廃棄物処理施設が利用できない場所で暮らしています。†



紙1トンのリサイクルすると、**17本の樹木**を守ることができます。*



世界の食料のうち**13%**は、収穫後、小売市場に届く前に失われています。**食品全体の17%**が、消費者レベルで廃棄されています。‡



Lions International

ライオンズとレオは、より健やかな地域社会と、より持続可能な世界を実現するため、環境保全に取り組んでいます。

安全な水と
トイレを世界中に

環境への認識向上、
教育、アドボカシー

環境の浄化
と復元

植樹と
樹木の世話



リサイクルおよび 廃棄物管理

奉仕事業案

lionsclubs.org/environment



国連環境計画 (UNEP) の「World Environment Situation Room」(英語) にアクセスして、そこに掲載されているリソースを参照し、**汚染と廃棄物**に関する関連情報や、それに対処するための世界各地の取り組みについて学びましょう。



9月29日の「**食料ロス・廃棄啓発のための国際デー**」にちなんで、各自の居住地域で生ごみコンポストを導入する選択肢を検討しませんか。埋立地に廃棄される生ゴミの量を減らし、**コンポスト化で地球への影響を軽減する方法について**学びましょう。



地元の学校と提携して、学校菜園での有機栽培と堆肥化のプログラムを確立しましょう。これにより、学校給食の質を向上させると同時に、**廃棄物を削減**することができます。現地パートナーシップを開拓するためのLCIの**ガイドは、こちらからダウンロード**できます。



自治体の担当者に連絡を取り、世界規模で廃棄物管理に取り組む、国連ハビタットの「**Waste Wise Cities**」イニシアチブへの参加を検討するように相談してみましょう。



地域の人々が中古品を慈善団体に寄贈するようリサイクル活動を企画して実施しましょう。中古の携帯電話端末を収集し、それを必要としている個人に寄付するなどして、古い機械や電子機器の廃棄物を再利用しましょう。



クラブ、地区、複合地区と協力し、**有毒物のリサイクル先を特定**して、その回収スケジュールを共有しましょう。市役所職員と協力して、道路の排水口付近に「**不法投棄禁止**」の看板を設置しましょう。



3月18日の**グローバル・リサイクル・デー**にちなんで、所属クラブの奉仕活動を計画しましょう。環境保護のために世界中の人が奉仕する日に、地域全域を対象とした、リサイクルの活動を計画し、大勢の人々に参加してもらうように呼びかけて、新たなつながりを築きましょう。UNEPが提供しているポスター、写真、ビデオ、その他のリソースを利用して、地元の地域社会で、この日に関する認識を広めてください。「**#GlobalRecyclingDay**」のハッシュタグをつけて、あなたのインパクトをSNSにシェアしてください。



地域の中で交通量の多い場所で月1回のゴミ拾いイベントを企画し、リサイクルボックスやゴミ箱を配布しましょう。



フードシェアリングアプリを使って、食品を寄付しましょう。これにより、**未開封でまだ食べられる食品**を必要な人に届けることができますし、食品廃棄物や不必要な生産も減らすことができます。**国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) が注目しているフードアプリ関連事業の記事**を参照して、将来の活動のアイデアを得ましょう。